

一般社団法人日本オートキャンプ協会

2012年度事業計画

(2012年4月1日～2013年3月31日)

昨年度は東日本大震災及び巨大津波、福島原発事故、タイの大洪水、欧米の経済不況などが日本社会を揺るがし、未だ予断を許さない状況下、オートキャンプ場をはじめとして、関係企業やキャンパーにも大きな影響を及ぼしている。

このような状況の中、今後も、協会を中心として関係者が一致団結し、オートキャンプの普及促進を通して公共の福祉増進を図ることは元より、オートキャンプ場、キャンプ用品メーカーなど、関係業界を元気付け、ひいては日本全体を活気のあるものに行なう必要があると考える。

昨年、震災直後の4月初旬に開催した「アウトドアデイジャパン2011」は、魅力ある内容にすべく大幅なリニューアルを図る中、震災直後での開催が危ぶまれた。しかしながら、災害時においてアウトドア体験がいかに役立つか、キャンプ用品の有効性などを再認識する場として、また義援金募集により被災地を支援するなど、あえて開催する意義を見出し、自粛ムードの状況下で、新たな体験型イベントとして開催できたことは2011年度における一つの成果であった。

一方で、2011年度では当協会の一般社団法人への移行を決定しており、本年4月1日から新定款のもと一般社団法人に生まれ変わる。

2012年度の重点目標としては、従来から公益性を標榜してきた(社)日本オート・キャンプ協会が、オートキャンプの普及促進など厳密な意味での公益事業を展開しつつも、会員制を基盤とした会員共益を目的とした事業を開発、拡充し、これにより会員増強を図ることとする。また、昨年来の震災や原発事故の風評被害等を鑑み、利用者減等の打撃を受けているキャンプ場の実績回復のための支援も直近の課題であり、この支援策を本年度の重点事業の一つとする。

普及促進事業では、近年の女子キャンプやフェスキャンプなど多様化しているキャンプの状況からして、幅広い層からのキャンプ活動への参加が期待でき、オートキャンプ参加人口の拡大を目指して、万人を対象とした観光・レジャーとしてのオートキャンプを社会にアピールすることとする。オートキャンプ普及促進のための主要事業の一つである「全日本オートキャンプ大会」を会員以外でも気軽に参加でき、誰でもがオートキャンプの楽しさを体験できるようにプログラム等の見直しを行い、実施する。広報事業では、ホームページの充実、「広報紙オートキャンプ」・「オートキャンプガイド」・「オートキャンプハンドブック」の内容充実、効果的な配布方法の検討などを行い、社会におけるオートキャンプ認知度を高めるよう更なる努力を行う。

また、観光庁をはじめとして環境省など関係省庁に、オートキャンプ場の観光基地としての役割や地域振興への貢献などを積極的にアピールすることにより国との連携を深めるなど、一般社団法人移行初年度として、その特性・機能を生かした諸事業を展開し、オートキャンプの更なる普及発展を図ることとする。

1. オートキャンプの普及促進

- (1) 第42回全日本オートキャンプ大会の開催（「オートキャンプ2012」と併催）
と き：2012年11月9日（金）～11日（日）
と ころ：北軽井沢スウィートグラス（群馬県吾妻郡）
- (2) アウトドアデイジャパン2012の開催
と き：2012年4月7日（土）～8日（日）
と ころ：都立代々木公園B地区イベント広場・野外ステージ（東京都渋谷区）
- (3) 第7回「オートキャンプの日」事業
「オートキャンプの日」（毎年5月の第3土曜日、2012年5月19日）を記念して、全国のオートキャンプ場において、オートキャンプの発展・社会性を高める各種行事を実施する。
（日本レクリエーション協会主催 全国一斉「あそびの日」キャンペーン参画事業）
- (4) オートキャンプの普及促進ならびに会員増大のための支援・協賛
公認オートキャンプ指導者等が行う初心者や一般人を対象としたキャンプ教室等のオートキャンプの普及促進ならびに会員増大のための事業に対して支援及び協賛を行う。
- (5) 協会運営等検討特別委員会で、次の事項を検討する。
 - ① 財政基盤の確立
 - ② 事業の活性化
 - ③ 協会発展のための中・長期計画の策定
- (6) 会員増強の推進
 - ① 個人会員
 - ・ 会員割引・特典キャンプ場の拡充等による特典拡大
 - ・ 一般（非会員）に対する協会主催事業及び共催事業への参加勧誘による入会促進
 - ・ オートキャンプガイド、広報紙、ホームページ等による情報提供の充実
 - ・ クラブや指導者等を通しての入会勧誘
 - ・ 関係団体との提携協力による会員増強
 - ② 団体会員（オートキャンプ場）
 - ・ オートキャンプガイド、広報紙、ホームページ、イベント等での会員情報の発信拡充
 - ・ インターネット予約システムの充実
 - ・ 非会員キャンプ場へのキャンプ場保険の案内、入会キャンペーン等積極的な入会勧誘の実施

③ 団体会員（用具・用品及びRV・施設関連）

- ・ オートキャンプガイド、広報紙、ホームページ、イベント等での会員情報の発信
拡充
- ・ イベント出展案内等によるオートキャンプ関連事業者への積極的な入会勧誘
- ・ 団体会員関係者を通しての入会勧誘

2. オートキャンプに関する相談及び支援

(1) オートキャンプ場整備事業

公設キャンプ場にイベント用宝くじテント（(財)日本宝くじ協会助成事業）を、民間キャンプ場に協会よりイベント用テントを配布する。

(2) 星マーク認定制度の実施

星マーク認定制度のオートキャンプ場評価基準により、立地・施設・サービス・アメニティ及び総合評価によるオートキャンプ場の星マーク認定を行う。

(3) 公認オートキャンプ指導者の派遣

地方公共団体、正会員等による「オートキャンプの日」事業、オートキャンプ大会、研修会等及びマスコミの入門企画等への派遣を行い、指導者の活動及び関係先との連携を活発化させる。

(4) オートキャンプ場保険の取り扱いの推進

キャンプ場保険の必要性を研究会、講習会、広報紙「オートキャンプ」等を通じ、会員に対し保険加入の促進を図る。

(5) オートキャンプ場のコンサルテーション

オートキャンプ場のリニューアル、建設、整備、従業員教育の相談等、積極的に対応する。

(6) 東日本大地震及び福島原発事故の風評被害等の被災・被害キャンプ場への支援等

- ① 原発事故による風評被害等の実態を把握し、その対策等について引き続き検討、実施する。
- ② アウトドアデイジャパン 2012 等の事業や全国キャンプ場で義援金を募り、また風評被害等で利用者が激減している東日本地域のキャンプ場の利用回復のため、「ガンバレ東日本キャンペーン」を実施する。

(7) キャンプ場地域情報交換会の開催

北海道、東北などいくつかの地域別に、それぞれの地域のキャンプ場の情報交換会を開催し、協会とキャンプ場とのつながりを作り、相互連携及びJAC入会等を促進する。

3. オートキャンプに関する広報

(1) 広報紙「オートキャンプ」の発行（毎月1回、年12回発行）（(財)日本宝くじ協会助成事業）

(2) 「オートキャンプガイド2012」（第11版）の刊行・配布（(財)日本宝くじ協会助成事業）

全国のオートキャンプ場団体会員約300カ所の詳細ガイドと会員外キャンプ場約800カ所の所在リストを掲載したガイドブックを刊行、配布する。

(3) 「オートキャンプハンドブック」（第12版）の刊行・配布（(財)日本宝くじ協会助成事業）

オートキャンプの入門書として、オートキャンプの楽しさ、楽しみ方などを案内し、オートキャンプ活動への参加を促す。

(4) インターネットの「ホームページ」による情報提供

イベントの告知及び報告、キャンプ場紹介、リンク情報等をさらに充実する。
ネット上のキャンプ仲間の募集、情報交換の実施。

(5) 報道機関等への情報提供

各種イベント、オートキャンプのトレンド等マスコミへオートキャンプ関係の情報提供を充実させ、協会の認知度を高める。

(6) オートキャンプに関わる電話相談等の実施

4. オートキャンプの指導者及びオートキャンプ場従事者の養成研修

(1) 公認オートキャンプ指導者（インストラクター、コーディネーター）の認定

公認オートキャンプ指導者（インストラクター）に加え、地域における指導者の連携や指導者養成の任にあたる公認上級オートキャンプ指導者（コーディネーター）を制度化し、インストラクターの上級資格としてその認定を行う。

(2) オートキャンプ場経営者研究会（第 20 回）の開催

と き : 2013 年 2 月初旬予定

と ころ : 東京

(3) 公認オートキャンプ指導者資格認定講習会の開催

① 第 14 回

と き : 2012 年 12 月 8 日 (土)・9 日 (日)

と ころ : 三重県・青川峡キャンピングパーク

② 第 15 回

と き : 2013 年 2 月 2 日 (土)・3 日 (日)

と ころ : オリンピック記念青少年総合センター (東京都渋谷区)

5. オートキャンプに関する情報の収集及び提供

(1) 「オートキャンプ白書 2012」の発行 (第 26 版)

キャンパーの意識調査、オートキャンプ場、用具・用品及び R V ・施設関連の実態調査を行い、オートキャンプの現状及び将来について分析した調査白書を発行し、マスコミ等を通じて広く社会に提言する。

(2) 「オートキャンプ白書 2012」発表会の開催

マスコミ等に白書概要を発表し、オートキャンプの広報を行う。

(3) アンケート調査等の実施

時系列の項目に加え、新たなデータの収集を目指しキャンパーの意識調査、用具・用品及び R V ・施設関連、オートキャンプ場の実態調査を実施する。

また、オートキャンプ場や用具・用品メーカー等の団体会員やキャンパー会員の意見や声を集約し、必要に応じて関係官庁に陳情等を行なう。

6. 関係団体との連絡提携

(1) 観光立国を目指す観光庁を初めとして、文部科学省、総務省、環境省及び地方公共団体等との連携を強化し、国及び自治体が発する事業への参画等積極的な提携を図る。

(2) 自動車関係団体、観光関係団体、スポーツ・レクリエーション、アウトドア関係諸団体との連携強化

- ①日本レクリエーション協会及び日本野外活動団体協議会に継続加盟し、それぞれの関連諸団体との連携強化
- ② 観光関係団体連絡会に参加し、情報交換等関連諸団体との連携強化

7. 国際関係

(1) F. I. C. C. 関係

- ① 第78回F. I. C. C. 世界大会
 - と き : 2012年7月27日(月)～8月5日(日)
 - と ころ : カナダ・ケベック
- ② F. I. C. C. 総会
 - と き : 2012年8月
 - と ころ : カナダ・ケベック
- ③ 第15回F. I. C. C. アジア・パシフィック大会参加
 - と き : 2012年9月14日(金)～17日(月・祝)
 - と ころ : 中国・北京市蟹島(シエダウ) エコグリーンリゾート
- ④ F. I. C. C. アジア・パシフィック委員会
 - と き : 2012年9月
 - と ころ : 中国・北京市蟹島(シエダウ)

(2) その他の国際関係団体との連携